動物用GリホルモンＡ 1,500 単位

【本剤の説明又は製造方法】
本剤は、妊娠末期から抽出精製した胎盤性腺刺激ホルモン（chorionic gonadotrophin）製剤です。凍結乾燥により製品の力価が一定に保持され、かつ水に溶けやすい製剤となっております。

【成成分及び性状】
本剤は胎盤性腺刺激ホルモンを凍結乾燥により製造、用時溶かして用いる注射剤で、別に溶媒液として、生理食塩液5mLを添付。
本剤は白色～淡黄褐色の粉末又は塊である。

【成分及び分量】
1容器（凍結乾燥剤）中

<table>
<thead>
<tr>
<th>成分</th>
<th>分量</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>胎盤性腺刺激ホルモン</td>
<td>1,500単位</td>
</tr>
</tbody>
</table>

添付溶媒液
生理食塩液…………………………………………………………5mL

【効能又は効果】
牛（雄）：卵胞のう腫、排卵障害、卵胞発育障害（卵胞発育不全、卵胞静止、卵胞萎縮）
馬（雄）：卵胞のう腫、排卵障害、卵胞発育障害（卵胞発育不全、卵胞静止、卵胞萎縮）
豚（雄）：卵胞発育障害（卵胞発育不全、卵胞静止、卵胞萎縮）、卵胞のう腫、排卵障害（卵胞発育不全）
犬（雄）：卵胞発育障害（卵胞発育不全、卵胞静止、卵胞萎縮）
無精期発情における発情誘起
牛、馬、豚（雄）：精巣機能減退（交尾欲減退）

【使用上の注意】
1.守らなければならないこと（一般的注意）
・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
・本剤は効能・効果において定められた目的のみにのみ使用すること。
・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
・注射器は滅菌されたものを使用すること。
・小児の手の届かないところに保管すること。
・本剤の保管は直射日光及び高温を避け、適温して冷所に保管すること。
・本剤は、溶解液に混和後直ちに振盪溶解し、速やかに使用すること。
・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2.使用に際して気を付けること（使用者に対する注意）
・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。
（対象動物に関する注意）
・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

【用途及び用量】
添付の溶媒液に溶解し、通常1日1回1頭当たり胎盤性腺刺激ホルモンとして下記の量を注射する。
牛（雄）：1,500〜2,000単位（筋肉内又は皮下注射）。
但し、卵胞のう腫の場合またはう腫腫内、卵胞発育障害の場合には卵胞実質内に1,500〜3,000単位を注射すること。
馬（雄）：1,500〜6,000単位（筋肉内、皮下注射）
豚（雄）：1,500〜3,000単位（筋肉内注射）
犬（雄）：150〜3,000単位（筋肉内注射）
牛、馬、豚（雄）：1,000〜2,000単位（筋肉内注射）3日ごとに投与する。

【使用期限】包装に表示の使用期限内に使用すること。

【包薬】1,500単位×10管
（溶媒液5mL 10管添付）
製品情報のお問い合わせ

日本全薬工業株式会社
〒963-0196 福島県郡山市安積町笛川字平ノ上1-1
フリーダイヤル 0120-452-793
受付時間 9:00-17:00（土日祝日・弊社休業日を除く）

製造販売元
日本全薬工業株式会社

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記［製品情報お問い合わせ先］に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所
（http://www.maff.go.jp/nval/iyekutou/fukusayo/sousa/index.html）にも報告をお願いします。